本と一書を差送ん
成る 墨 夜酒匂氏を訪ハんと為す
途中にて岡ア氏ニ逢ひ其不在を告
き行かず帰りハ此午大雲無来れ
り共飲みて十フ時ニ至れ

九月一日 墨有風 本日ハ二百十日ホ
るをにん 雨あるへし と思ひや
不雨るむふすつ馬菊庭氏し出を訪
ねり 午後商務省出張田民及び姉

花壹不達にて之れ断 大森板子二抵ル
又酒匂氏宿ニ東発する事を訪ひて三土一
訪ふ本山学務課長の妻君を訪ひ
同道山本へ参る
二ゐる 中る吾久次第世吾て二十代
るまいん大宮工藤二氏を訪ひ面
本氏迷まんハ病を来診乃ちは以ん
漸く健全に此時二一雨来り蝶ん
来ハ使を遣ふ此段本山氏学校
二換気ふんきいれ仙台へ随し（二十一）

時に[illegible]て居り
三月[illegible]迄病益々重し井上義
子に夜迄に[illegible]拾[illegible]
[illegible]て帰り
[illegible]拾[illegible]事のため
長谷木氏と共に[illegible]
[illegible]迄病益々[illegible]
一時[illegible]て子[illegible]
帰り[illegible]田[illegible]子[illegible]
[illegible]子[illegible]事[illegible]て[illegible]

[illegible]拾[illegible]行[illegible]
[illegible]一時[illegible]一面[illegible]
[illegible]迄病[illegible]
[illegible]
[illegible]迄病[illegible]子
[illegible]親[illegible]
[illegible]病[illegible]
[illegible]
[illegible]又中[illegible]
[illegible]迄
[illegible]

右見送りお打に事し之を弁務す
右午後雨天此日午後十二時
三十分本送り葬式あるし
ありしとある
り暑気晴夜雨あり本日午前
十一時本送り芝明寺へ葬
右葬列者多し今葬にて人々労
苦労も少なかりし神官仕
野氏御母之病死に付葬式右
右を以て宗事一昌寺に其葬

右之宮に参りも上杉氏二之支社
く先は大島並に出向いたしより式
あり
あり昨夜微雨本日四方来客中村お客
続続送迎其者納之右を始め右り尾張
送迎来訪昨日少より居替後にて時
支新亭夜白雪にて信し出立に
すり日曜午前十一時頃山支店津豊岡より
出立を見送り来る共田老若書を呼
り今頃山支店に到る豊岡

ヲ起シ其日より口氏を西に居ル事ハ訪ひ
来法十時ニ帰ル石ヒん
十一日晴朝来豊岡古氏を訪ひ午
後典神矢山を中利三氏今大野氏
懇山を氏黄白帰路に就き夕方家
ニ帰ル
十二日晴午後俗用を矢像
十三日雨中田より帰状ヒん来ル
学校ニて文長撰奉聯句等指出ス
十四日雨未霧雨 書ハ森ヒ

物日此日教長ヒ川原一来訪
十五日晴 書ハ文庫来ル句〻ス聯句
会議ヲ傷脱ス午後大宮典神住
ヲ我中住秋山来ル夕方〻夏傷
ヲ生ル事ニ付庶務幸井清水
清氏を訪ひ該事教諭し事を清
ル事
十六日雨 書ハ亡家ヒ立ヒ
祝を行ふ来客多午後修光寺ヒ
午後大宮氏の書ヒ銀行教

示あり清水康一小竹次郎浅田
宗五其外数名を招集し会議を
午前四時ニ至ル
十七日晴本日大宅氏警視総署
へ徴され候ニ付午後七時歴
但書本文ハ清瀬…
抜き救済方法を議し夜
久保山本森と三十二名相頼
少林寺有志親会ニ池川氏ニ命し
来村セリ人鐵治郎村清水氏ニ命

秋山知ニ八人余来リ事を議し
運動千万及び数名
村三名来り出頭ん
十六日晴本日二十二名親
…ニ付七…大字中村
三名来る…大宅氏ニ總代
後西山氏より依頼者を招リ
小林大宅氏請来あるに方法
協議せしむ
十九日晴本日拔参寺ヶ山宅氏一書を呈

り来る時ニ天野氏訪ひ来り帰
来ル此夕岩崎老人尋ね来る櫻井
氏ニ来るを待たり
十一日西大ニ寒シ伴ふ本ハ落着
する事を以て該写開きん参出
井襟ニ館ス帰れハ別ち大工
会ス幹事諸ス時山中大河内ニ
擬参ス
十五日西来正時井上謹し参る

十六日雨時ニ土肥氏登米事ニ付
該氏ニ館ス同道ス大谷山田老人大西
老人及び来る
十三日雨晴日以暦ハ八朔及秋季皇霊
祭典ニ属ス小学校以て我が体業ニ就ス
上校授業を理ス此日峯岸井上
蘇東氏ノ宅ニ招かる大村家ニ帰
小川町山本某大宮氏ノ二三ヵため帰ス
来訪ス一酌ノ後同氏と西山様ニ
宅を訪ひ談話數刻ニして

降らん。
十八日雨午前退散し途次井上
哲学子を訪ひ井藤作麿と石井
氏と事を話して去る秋本光貴子
漁兵会あり参集す
十九日雨晴此尋思記念会を行ふ社
員諸会へ
二十一日曇大風晴午後井岩文清
翁九十八大窪氏の事しの為めに来
印す西山に大窪に晴てもと一先夕晴

夕還文学二階四時に属入ル夕以下
諸子友二相夕
二十二日晴
二十三日晴此日工藤寿文し病を訪
ふ
二十四日晴曇後雨晴此日学校講子と岩
渡子を訪ふ二相詠く
二十五日晴此頃秋高旅遊路子を訪ふ
十月一日晴風冷雨より学校
試験を行ふ午後尋思記念会井
十八日